

9月22日漢字小委「資料2, 3」についての意見

「資料2」について

- ①異字同訓の使い分けを示す（時間の関係で中間発表の後でもやむを得ないが、本答申までには作成することを言及する）。

「資料2」については、当日複数の委員から意見が出たように、異字同訓を採用した場合、一般にどう使い分けるかという疑問が出るとおられますので、使い分けを示すことが必要です。その結果、使い分けが難しいものは採用しない方がよいと考えます。

例：乞（こう）＝「請う」との使い分けが明確にできないなら、字種そのものも不要。

- ②漢字を理解するためにも、代表的・一般的な音と訓は、頻度にこだわらず、なるべく採用したい。ただし、読み方が難しいもの、同訓で使い分けが困難なものは採用しない。

例：次の字種の音訓を追加したい。

拳＝こぶし 虹＝コウ 膝＝シツ 凄＝すごい 塞＝ふさがる 綻＝ほころびる
ほころぶ 捻＝ひねる 喩＝たとえ（現行「例え」との使い分けを示す） 剥＝はぐ
梨＝リ 籠＝かご 椎＝しい

「資料3」についてはおおむね賛成

- ①「混む」については「込む」との使い分けが明示できれば採用してもよい。
- ②「私」に「わたし」を追加することに賛成する。「わたくし」の訓は残す。（どちらの読みか分からなくてもやむを得ない。現行の「脅かす（おどかす、おびやかす）」も区別できない）
- ③「要（かなめ）」は代表的・一般的な訓であり、追加したい。
- ④前回の私のアンケート回答のうち、資料3に取り上げられていないものについて、途中段階であるとのことでしたので、さらにご検討ください。なお、その後、表内訓かどうか辞書の扱いが分かっている語として、前回の表に「小路（こうじ）」を追加します。

（○表内訓、×表外訓）

	大辞林	大辞泉	学研国 語大	新明解 国語	明鏡国 語	三省堂 国語	日本語 新辞典	岩波国 語	現代国 語例解	集英社 国語
(袋)小路	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×

以上